

# 【改定版】2022高知市交通基本計画の概要について

## 目的

本市の交通を取り巻く環境の変化に対応するため、市民のニーズに即した持続可能な交通体系の構築や、市民・事業者・行政が共に支え合う仕組みの実現を図ることで、交通全般について、めざすべき将来像の実現に寄与することを目的とします。

## 計画期間

基本構想 2012（平成24）～2031（令和13）年度 20年間  
基本計画 2022（令和4）～2031（令和13）年度 10年間

## 計画対象

公共交通、自動車交通、徒歩・自転車交通

## 数値指標

数値指標	基準値	目標値
1 公共交通利用率	7.88% (R30年度)	7.88%以上 (R13年度)
2 居住誘導区域内人口	26.1万人 (R2年度)	25.1万人 (R13年度)
3 歩行者通行量	144,672人 (R元年度)	次期「中心市街地活性化計画」策定時に設定 (R13年度)
4 交通事故発生件数	946件 (R元年度)	480件以下 (R13年度)

## 次期計画の新たな視点

### 1. 交通政策基本法

公共交通の確保維持	利便性向上	地域活力の向上
バリアフリー化	交通体系の整備	連携・協働
温暖化対策	産業・観光の強化	交通安全

### 2. SDGs

本基本計画の取組とSDGsの同時推進が生み出す双方の相乗効果により、さらなる計画の推進を図ります。



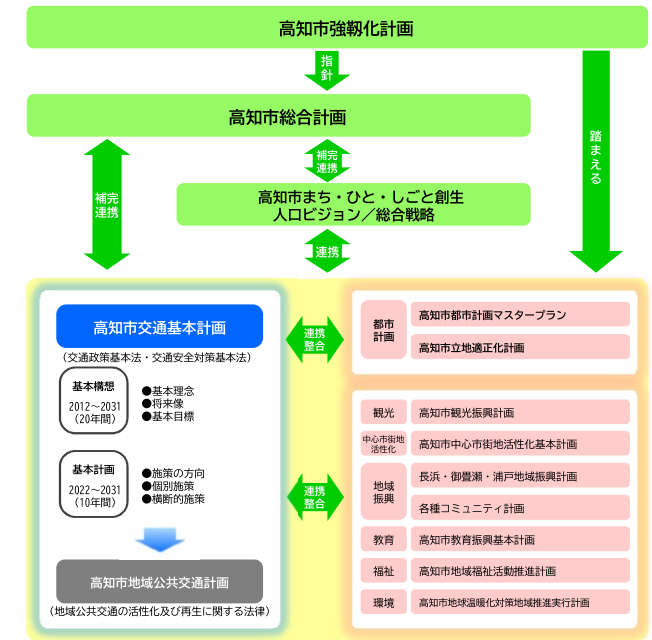
### 3. Society 5.0

Society5.0の実現に向けて、交通分野におけるデジタル化の促進、生産性向上の取組等の新たなサービスの創出を目指します。

### 4. まちづくりとの連携

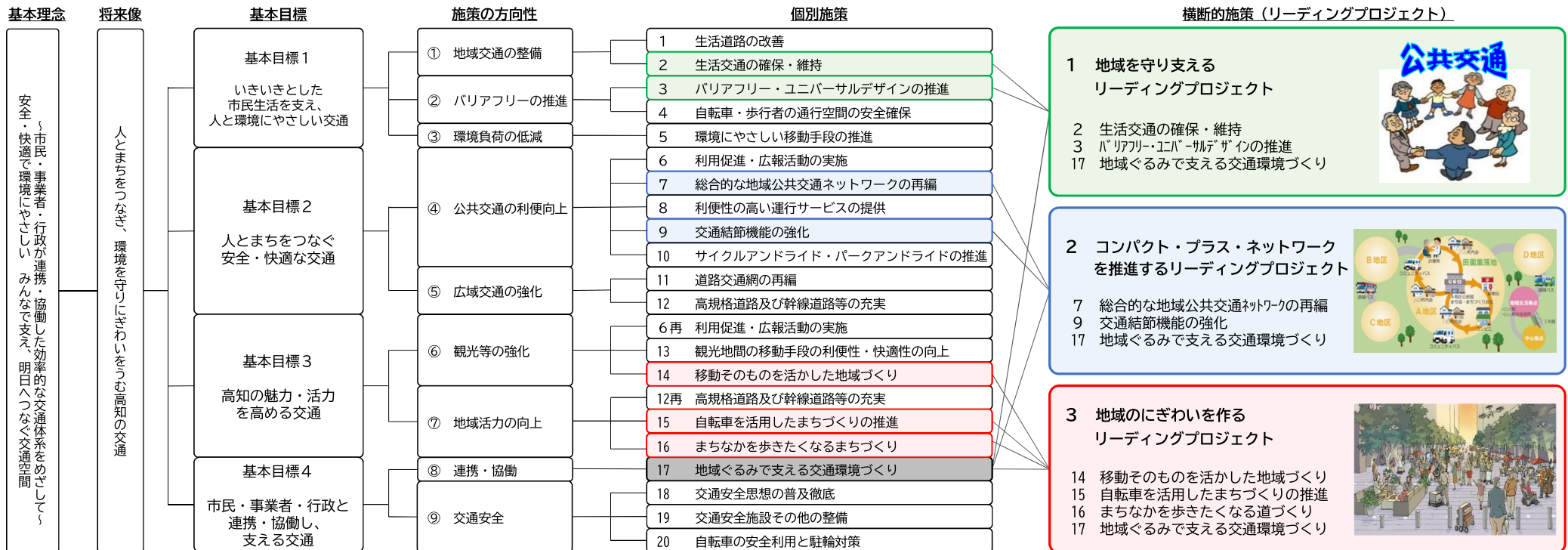
公共交通ネットワークによる都市構造の骨格と、居住や都市の生活を支える施設誘導を図る土地利用の誘導を一体的に捉え、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを進めます。

## 上位・関連計画



## 基本構想 (2012 (平成24) ~ 2031 (令和13))

## 後期基本計画 (2022 (令和4) ~ 2031 (令和13))



# 【改定版】2022高知市交通基本計画の概要について

## リーディングプロジェクトとは

リーディングプロジェクトは、交通の課題解決に向けて、複数の施策をパッケージ化し、市民・事業者・行政が連携・協働で一体的に施策を推進することで、基本計画を牽引する役割を担っています。

### 公共交通の確保・維持 1 地域交通を守り支えるリーディングプロジェクト

- ・路線バスや乗合タクシーなど日常生活に不可欠な移動手段の、確保・維持に取り組みます。
- ・誰もが快適に移動できるよう、車両や停留所施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化を推進します。

#### 施策2 生活交通の確保・維持

- バス路線の確保・維持
- 乗合タクシーの確保・維持

#### 施策3 バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

- バス停・電停等の利用環境の改善
- バス・電車車両の改善

#### 施策17 地域ぐるみで支える交通環境づくり

- 交通事業者、行政、地域住民、地域企業との連携・協働



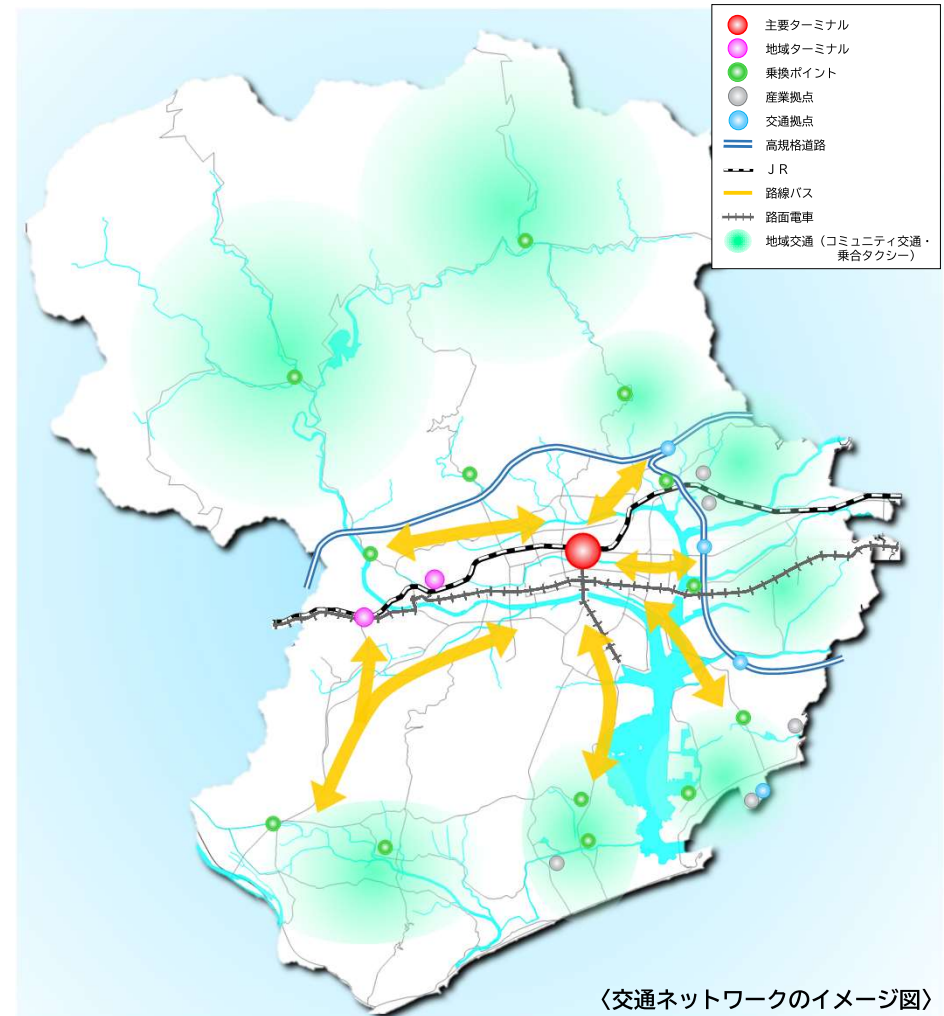
## 交通ネットワークの形成

本市の道路網は、広域交通の役割を担う高規格道路と都心部から放射状に広がる幹線道路等によって、まちの骨格を形成しています。

公共交通は、JRが県内外をつなぐ「広域幹線」、路面電車が近隣市町と市中心部をつなぐ「都市幹線」、路線バスが、周辺エリアと中心部をつなぐ「市内幹線」の役割を担います。

また、周辺エリアにおいては、路線バスにつながる「支線」として、乗合タクシーなどで周辺エリア内をきめ細かく運行できる地域交通システム（コミュニティ交通）を構築します。

加えて、それぞれの交通が交通結節点（主要ターミナル、地域ターミナル、乗換ポイント）において、円滑に乗り換えができるよう結節機能の強化を図ることで、持続可能な交通ネットワークを形成します。



### 交通体系の再編 2 コンパクト・プラス・ネットワークを推進するリーディングプロジェクト

- ・持続可能な交通体系を形成するために、バス路線の再編やきめ細かなニーズに対応できるコミュニティ交通の導入に取り組みます。
- ・地域ターミナル等において、既存施設の活用や民間施設と連携することにより、利便性の向上を図ります。

#### 施策7 総合的な地域公共交通ネットワークの再編

- バス路線の再編
- コミュニティ交通の導入

#### 施策9 交通結節機能の強化

- 交通結節ポイントの機能強化

#### 施策17 地域ぐるみで支える交通環境づくり

- 交通事業者、行政、地域住民、地域企業との連携・協働



### にぎわいづくり 3 地域のにぎわいをつくるリーディングプロジェクト

- ・路面電車を観光資源とした、まちなかのにぎわいづくりに取り組みます。
- ・まちなかの回遊性向上のため、商店街等と連携し、シェアサイクルの導入を検討します。
- ・歩行者を中心とした空間形成について、地域ぐるみで検討し、歩行者等にやさしい空間づくりに取り組みます。

#### 施策14 移動そのものを活かした地域づくり

- 路面電車を活用した魅力づくり
- 気軽に周遊できる仕組みづくり

#### 施策15 自転車を活用したまちづくりの推進

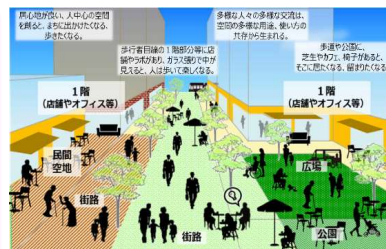
- シェアサイクルの導入

#### 施策16 まちなかを歩きたくする道づくり

- 気軽に周遊できるしくみづくり

#### 施策17 地域ぐるみで支える交通環境づくり

- 交通事業者、行政、地域住民、地域企業との連携・協働



出典：国土交通省資料